

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人エルム福祉会smile		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 13日		令和7年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当法人の価値観の中に於いて、特に力を入れている。 「挨拶・笑顔・ありがとう」の実践。	来客への明るい挨拶。 利用者ひとりひとりへの笑顔で「おかえりなさい」等の挨拶の取り組み。	全員が1日に1回以上利用者に対して行うことによって、ホスピタリティの向上を図る。
2	4つのスローガンのひとつ、施設の透明性	常に施設内見学や保護者の出入りは開放されており、療育場面への見学参加も行っている。また、保護者が自由に話し合える場の提供を行っている。	保護者との信頼関係を築き、話しやすい居場所を提供する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休みの時の職員配置	午前中の療育は小学生と別々の部屋で過ごす、午後になると合同になってしまう	事前の計画を立て、適材適所の配置やサポートを依頼する事
2	施設外への活動不足	10:00~11:30までの利用者が多く、時間的制約の為になかなか園外への活動が少ない。	計画を事前に各園、保護者へ案内と協力を依頼する。事前にアンケートや各園の予定を把握すること。
3	各会議に対する時間の確保	利用者の送迎、休憩の確保等から難しく、利用者の不在は、月・金(13:30~14:00)の1時間のため、打ち合わせに時間を取ってしまうと策定会議が短くなったり、できないことがある。	月~木の送迎を他チームに依頼することによって、月~金1時間の時間が確保される。会議の進め方を効率よく進めていけるように事前に資料配布をする。